

乙訓青年会議所は36年間に渡り「明るい豊かな社会の実現」に向けて活動してきました。これまでに先輩諸兄が地域貢献によって築き上げられた地域との信頼関係は何ものにも替え難い財産となり、脈々と引き継がれています。今後も我々青年が、この乙訓まほに対して愛着を持ちここに住んでいる喜びを自分自身の「誇り」としながら、市民、行政、地域諸団体と共に率先して行動していく事で、これを更に良いものへ発展させなければなりません。

乙訓まほに対する愛着を持ち住んでいる喜びを「誇り」とするには、我々乙訓青年会議所のメンバー自身が所属する組織に愛着を持ち、活動している内容に誇りを持つ事から始まります。組織への愛着の根底にはメンバー同士の真の絆が必要不可欠であり、また、活動内容への誇りには会議や事業等の趣旨や実施意義への深い理解が必要不可欠です。今年度渉外交流委員会では、相互理解による真の絆を構築し、事業実施意義の発信によって活動内容への深い理解を達成する事で、明るい豊かな社会の実現へ向けて一丸となって活動する乙訓青年会議所を作り上げます。

1月例会・新春交歓会では、「笑超蒼天」に込められた理事長の想いや1年間の方向性を、メンバーを始めご参加頂く行政関係者、特別会員、他LOMの皆様へ発信し、今後の取り組みにご協力頂ける環境を整えます。例会では厳粛に、新春交歓会では会場全体が楽しむ事が出来る設えとする事で、乙訓青年会議所の個性も発信します。3LOM合同交流会では、近隣LOM同士の親睦を深め広域なまちづくりに繋がる交流会を開催します。8月例会では、前半の活動を振り返り、後半に向けて一層の活気を持って事業に取り組む事に繋がる例会を開催します。納涼会では、メンバー同士の懇親を深める事によって乙訓青年会議所がより一層団結出来る交流会とします。卒業式では、卒業生の在籍期間に於ける功績を称え、メンバー全員の青年会議所運動に対する意識が更に高まる式典を開催します。忘年会では、1年間の活動を労うと共に次年度への新たな気持ちを醸成する事が出来る場とします。また、会員同士が切磋琢磨する事で懇親を深める事が出来る事業並びに、日頃からJC活動を支えて頂いているご家族や社員の方へJC活動への理解と感謝の気持ちを伝える事が出来る事業を開催致します。渉外活動では、JCI、日本青年会議所、近畿地区協議会、京都ブロック協議会、各地青年会議所の各種案内に対して、実施意義をメンバーにしっかりと伝えていく事で参加動員増と学びの促進に努めます。そして、同室のJC運動発信委員会やLOM全体で取り組む事業に積極的な連携協力を行う事で、青年会議所運動の輪が更にこの乙訓まほに広がる様に尽力して参ります。

委員会に於いては、JAYCEEとしてより困難な「いばらの道」を選択するJCスピリットを体現する委員長の背中を示しながら、委員会が一丸となり、困難な道を踏破するからこそ味わう事の出来る素晴らしい感動をメンバー全員と共有出来る様日々精進致します。